

大地健康茶販売開始！

完成報告会が行われる

中泊町・国立大学法人弘前大学との包括連携協定締結における事業である、「中泊町産農産物の機能性の立証と高付加価値加工食品の開発」について、弘前大学と町内企業の株式会社竹内組が共同で開発していました「(仮)中泊健康茶」が、この度完成し、2月21日(金)に完成報告会が行われました。

商品名は「大地健康茶」となり、パッケージのデザインは弘前大学大学院地域共創学科研究科修士課程1年の清藤百恵さんが制作しました。

「大地健康茶」は3月23日(日)から販売開始となり、同日に総合文化センター「パルナス」にて開催される劇団なかどまり「お結び」特別公演にて試飲会も開催されました。



商品の特徴

- ・原材料：中里在来ハトムギ、ヨモギ、菊芋
- ・内容量：10 g (1 g × 10袋入り) ティーバッグ
- ・美味しい飲み方：ティーバッグ1袋をカップに入れ、80℃～90℃のお湯を注ぎ、1分ほど浸す。

販売価格

700円(税別)

販売場所

- ・町特産物直売所「ピュア」
- ・株式会社竹内組ホームページ

脱炭素社会の実現に向け

地域おこし協力隊委嘱状交付式が行われる



地域おこし協力隊委嘱状交付式が2月28日(金)に行われ、秦淑晃さんが新たに任命されました。

秦隊員は、令和6年12月26日(木)に設立となった「中泊リージョナルパワー株式会社」内において活動することになり、中泊町と連携して、再生可能エネルギーの地産地消の推進や地域経済循環の促進を図りながら、国が掲げる脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくことをミッションとしています。

最高賞『推奨』受賞

小泊中2年成田理音さんが表敬訪問

小泊中学校2年成田理音さんが第14回東奥日報書道展にて『推奨』を受賞し、3月14日(金)には町長へ表敬訪問しました。

成田さんは「今回入賞した作品は繊細な書だったので、今後は力強い書などいろいろな書に挑戦したい」と話しました。

成田さんは、中国の有名な書聖王羲之の「蘭亭序」を書きました。審査員からは「とても美しい線で臨書しており、穏やかで上品な作品」と評価されていました。



エモい津軽の冬を感じる

エモフェス開催



エモい津軽の冬体験フェスタ エモフェスが3月15日(土)に津軽中里駅ナカ「にぎわい空間」にて行われました。

ステージでは、金多豆蔵人形芝居や金多豆蔵なりきりコンテストが行われました。このコンテストでは、こどもの部と一般の部に分かれ、参加者は金多と豆蔵になりきったメイクと服装で登場しました。

会場では、昔ながらのおでんなどが売られており、来場者は懐かしい気持ちに浸りながら、楽しんでいました。

皆様のご愛顧に感謝

湯らばーく来館者10万人達成！

2月に1周年を迎えた総合福祉健康センター「湯らばーく」の来館者数が、3月21日(金)に10万人を達成しました。

記念すべき10万人目の来館者は岩間繁義さん・ミサオさん夫妻(向町上)となり、岩間さんは「毎日湯らばーくにきている。まさか10万人目になるとは思わなくてびっくりしている」と話していました。

町長は「10万人を達成できたのは岩間さんご夫妻をはじめとする湯らばーくを愛してくださっている方々のおかげ。今後もぜひたくさんご利用していただきたい」と感謝の言葉を述べました。

